

三越前のみなさん、こちらは平和憲法を生かす香川県民の会です。私は日本共産党香川県委員会委員長の中谷浩一と申します。

本日 8 月 15 日は、アジア・太平洋戦争が終わって 75 年目の終戦記念日です。今年の終戦記念日は、世界と国内でコロナウイルスが猛威を振るう中で迎えました。多くの国民が「戦争準備の軍拡より、コロナ対策に予算を回せ」と言っている中で、安倍政府は軍事費を 6 年連続で増やし続け、今年も過去最高の 5 兆円を超えました。お隣の韓国をはじめ、世界では軍事費を削ってコロナ対策に取り組む国が増えています。日本共産党は、安倍内閣に対してコロナ対策にまじめに取り組むことを求めるとともに、軍拡をやめて憲法 9 条を生かした平和な日本を築くために全力をあげます。

私ごとになりますが、終戦記念日が近づくと私の 89 歳になる母が戦争体験を語るのです。子どもの頃は、広島県の呉市に住んでおりまして、戦争中は呉市には軍港があったこともあり、連日爆撃の中を逃げ回っていたそうです。防空壕に爆弾が直撃して近所の家族が亡くなったとか、20 キロ離れた広島に原爆が落ちたときは、ものすごい爆音がしてきのこ雲が見えたそうです。戦後の苦労と合わせて母は、毎年絶対に戦争はしてはいけないと言います。

当時の日本は朝鮮半島の支配から中国大陸、アジア・太平洋へと領土の拡大をめざした侵略戦争をやって、アジアで 2000 万人、国内でも 300 万人を超える命を奪い、その痛苦の反省から、憲法 9 条が生まれました。

しかし、歴代の自民党政権は憲法を踏みにじり、アメリカにつきしたがって軍拡をすすめてきました。そして安倍政権になると、自衛ではなく攻撃型の国に変えようとして、空母を作ったり、ステルス戦闘機を爆買いし、外国基地を攻撃する能力を持とうとしています。

ここ香川県でも、国分寺町の自衛隊演習場へ米軍のオスプレイがやってきて自衛隊との共同演習をはじめました。自衛隊のヘリコプター部隊の演習も今年に入ってすでに 50 回を超え、激しくなっています。四国山地での米軍機の低空飛行訓練も決められたルートを無視して、四国山地を戦場に見立て飛び回っています。

こうした危険な行動を許すわけにはいきません。中国などが軍拡をやっているからと言って、日本まで軍拡で対抗するというのは、アジアの緊張を高めることになるのは明らかです。

多くの国民が願っているように、今の日本がやるべきことは憲法 9 条を持つ国として、外交の力で日本とアジアの平和を築くことではないでしょうか。

3 年前に国連で採択された核兵器禁止条約は、条約発効に必要な 50 か国の批准まであと 6 か国となりました。アメリカや中国など核兵器に固執する国からの激しい妨害をのりこえて、国際社会は核兵器を禁止しようとしています。日本でも 7 割を超える国民が、核兵器禁止条約を批准すべきだと答えています。ところが安倍政権は“核兵器をなくすのは「究極の目標」であり今やるべきではない”とあって背を向けています。

みなさん、安倍総理にはもう何を言っても通じません。コロナ対策をほったらかして、軍拡に熱中する安倍内閣には退場してもらいましょう。来年 10 月までにおこなわれる総選挙では、日本共産党は、野党と市民のみなさんと力を合わせて、選挙区でも比例でも自公勢力を上回るようがんばります。コロナ禍を乗り越えて新しい平和な日本を、ご一緒に作っていくことを心から呼びかけて、日本共産党からの訴えとさせていただきます。暑い中をご清聴いただきありがとうございます。ありがとうございました。